

河川レンジャーと琵琶湖河川事務所の意見交換会開催について報告する。

### ■ 平成29年度第1回琵琶湖河川レンジャー・琵琶湖河川事務所意見交換会

◇日時：平成29年7月31日（月）15：00～17：00

◇場所：ウォーターステーション琵琶 2階 交流スペース

◇趣旨：琵琶湖河川レンジャーの活動について、委員会意見を踏まえ、個別の活動に対する議論ではなく、大きなテーマで住民連携や川づくり、住民参加ビジョンについて語り合う場とした。

#### ○会の流れ

河川事務所より「瀬田川・野洲川における課題」、活動支援室より「河川レンジャー制度」について概要を説明した後、アイスブレイクをはさみ、2つのグループ（瀬田川グループと野洲川グループ）に分かれ、テーマワークを議論した。テーマは、〈瀬田川・野洲川の川づくりにおける住民参加やNPO団体等の関わりについて〉と〈河川レンジャーに期待される役割について〉とした。最後に全体で発表と意見交換を行った。

#### ○出席者

・琵琶湖河川レンジャー 4名

・琵琶湖河川事務所 14名

（副所長、管理課、占用調整課、河川環境課、工務課、調査課、総務課、瀬田川出張所長、野洲川出張所長）

・流域連携支援室 3名

#### ○各グループにおける意見交換の主な内容

##### ◇瀬田川グループ（北村レンジャー、眞田レンジャーが参加のグループ）

・課題としてゴミ問題（不法投棄・マナー）、治水・利水の環境への考え方、外来水草の繁茂、洗堰の役割についてが挙げられた。

・ゴミ問題は、住民主体（自治体・NPO）でのアプローチを考え、釣り人は個人活動が多いためリーダーへのアプローチ、環境や洗堰の役割については小中学校での学習機会にアプローチすることを考えることとし、レンジャーの役割は、清掃の呼びかけ、知識を提供するつなぎ役として期待されているということがまとめた意見とされた。

##### ◇野洲川グループ（根木山レンジャーと水上レンジャーが参加のグループ）

・課題としてゴミの不法投棄のこと、野洲川は広い河川空間があるが利用が少ないという点が挙げられた。

・河川法は、してはダメということから始まっているが、近年少し河川管理方向が変わり、民間の活力を借りるなど、利活用を考えていこうとしている。行政がやりにくい民間のニーズをレンジャーのネットワークの中で聞き取り、行政の制度、情報とマッチングをしていくプロモーション、役割分担をしていくのが良いのかという全体まとめとなった。

#### ○全体での主な意見内容

・河川レンジャーが活動する上で分からないことに関しての支援については、河川事務所・支援室が一体となって取り組むことが必要だとの意見があった。

#### ○会の様子

各グループでの意見交換の様子 及び 全体意見交換の様子

